

(2)産業廃棄物

1. R7(2025)年度の単純将来の推計値について

	R1 年度【基準】 (2019)	R7 年度① (2025)	R7 年度② (2025)
排出量(万トン)	1357	1375	1368
再生利用率(%)	32.4%	32.8%	32.4%
最終処分量(万トン)	40	40	39

※2025 年度の推計については、コロナの影響を踏まえた経済動向により、2パターン想定

2. 推計方法について

(1)排出量

今後とも「大きな技術革新及び法律上の産業廃棄物の分類に変更がなく、現時点における産業廃棄物の排出状況等と業種ごとの活動量指標との関係は変わらない」とものと仮定して、2019 年度の業種別・種類別の原単位に将来の活動量指標を乗じて排出量を予測する。業種別の将来予測方法は次とおりである。

1)建設業

排出量＝原単位×活動量指標

・原単位＝2019 年度実績排出量/着工床面積

・活動量指標＝2019 年度の着工床面積×GDP 成長率(試算)

2)製造業

排出量＝原単位×活動量指標

・原単位＝2019 年度実績排出量/製造品出荷額等 (※業種中分類別・種類別に算定)

・活動量指標＝①2019 年度の製造品出荷額×GDP 成長率(試算)

または、

②2019 年度の製造品出荷額×直近の大阪府工業指数から予測した 2025 年度の同指数

3)水道業

排出量＝計画値を利用

4)病院

排出量＝原単位×活動量指標

・原単位＝2019 年度実績排出量/病床数

・活動量指標＝直近の病床数から予測した 2025 年度の病床数

5)その他

排出量＝原単位×活動量指標

・原単位＝2019 年度実績排出量/従業員数 (※業種別・種類別に算定)

・活動量指標＝直近の従業員数から予測した 2025 年度の従業員数

(2) 再生利用率・最終処分量

将来における処理・処分状況については、産業廃棄物排出量に対する再生利用、減量化、最終処分等の処理・処分量の割合が 2019 年度実績のまま今後も変わらないものと仮定して、将来推計排出量に業種別・種類別の処理・処分量の割合を乗じることで算出する。

1)再生利用率

再生利用率＝再生利用量÷排出量

・再生利用量＝排出量×再利用割合 (※業種別・種類別に計算し、合計する)

・再生利用割合＝種別・種類別の 2019 年度の再生利用量計÷2019 年度の排出量

・排出量＝(1)と同じ

2)最終処分量

最終処分量＝排出量×最終処分割合 (※業種別・種類別に計算し、合計する)

・排出量＝(1)と同じ

・最終処分割合＝業種別・種類別の 2019 年度の最終処分量÷2019 年度の排出量

